

夢をかたちにする第一歩目の予算

～平成30年度当初予算～

「人に生きがい」、「産業に活力を」、「暮らしに潤いを」の3つの基本姿勢で、これまで進めてきた取組をさらに一歩前進させ、具体的な成果を県民の皆さんに示すことができるよう取り組んでいきます。

人に生きがいを

- 女性や高齢者、障害者の方々をはじめ、誰もが、いつまでも、生き生きと活躍できる社会づくりを進めます
- 誰もが安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めます
- 「人財県長崎」の確立を目指して、これからの本県の地域や産業を支えていくことができる人材育成を進めます

企業における女性の活躍を推進

1,826万円

経営者向けの各種セミナーや女性の活躍促進に向けた企業の行動計画策定・実行の支援による働きやすい職場環境づくり、女性のキャリアアップのための研修等を通して、職域拡大や管理職登用促進など女性の活躍を推進します。



高齢者の介護予防や自立を支援

1,179万円

要介護度改善に成果を上げた介護事業所を評価・表彰するほか、高齢者の介護予防や自立を効果的にサポートする地域のサロンリーダー養成のため、認知症予防に効果のある体操を取り入れた講座を開催します。



独身男女の婚活をサポート

3,184万円

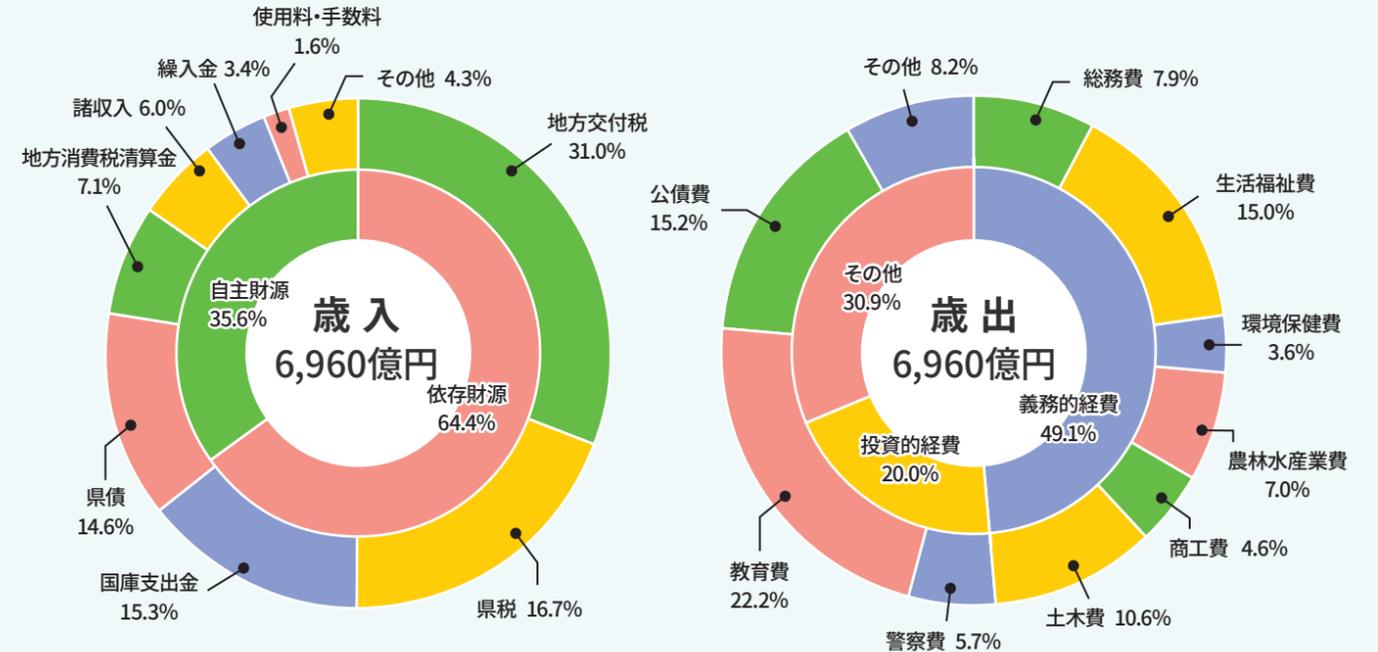
結婚を望む独身男女の婚活を支援するため、「婚活サポートセンター」で会員制のデータマッチングシステムを運用するとともに、市町や団体と連携し、県内一体となった結婚支援事業を進めます。



ふるさとへの愛着や誇りを育む

574万円

小中学校では本県独自の郷土学習資料「ふるさと長崎県」の活用など、また、高等学校では地域との協働による課題探究型学習等への取組などを通じて、ふるさとへの愛着や誇りを育み、若者のふるさと定着につなげます。



本県は、これまで「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などを策定し、人口減少や県民所得の低迷などの課題に取り組んできた結果、県外からの移住者数や雇用の創出数は目標を上回って推移し、合計特殊出生率も全国4位にまで高まってきました。

また、農業産出額は7年連続で増加し、観光消費額も過去最高を記録するなど、明るい兆しも見えはじめていますが、抜本的な解決までには至っていません。

引き続き、さまざまな課題に取り組むため、少子化対策や人口減少対策、力強い産業の育成と働く場の創出などに力を注いでいきます。

平成30年度の当初予算は
6,960億円

取組の方向性

- 人口減少対策
 - 誰もが安心して結婚・子育てができるよう支援
 - 地域の活性化を担う多様な人材育成・集積
 - 県外からのU・Iターンによる移住促進
- 雇用創出・産業振興
 - 成長ものづくり分野の誘致・育成
 - 若者の県内就職・定着促進
- 島の振興
 - 創業・事業拡大の推進
 - 交流人口の拡大 など

本県の現状

- 😊 【農業産出額】
 - 平成22年 1,399億円
 - ↓
 - 平成28年 1,582億円
- 😊 【観光消費額】
 - 平成22年 2,711億円
 - ↓
 - 平成28年 3,689億円
- 😞 【人口減少数】
 - 5年間(平成22年～27年)で約5万人減少
 - 人口減少率は全国ワースト9位

次のページから3つの基本姿勢に沿って
主な事業を紹介するばい!

